

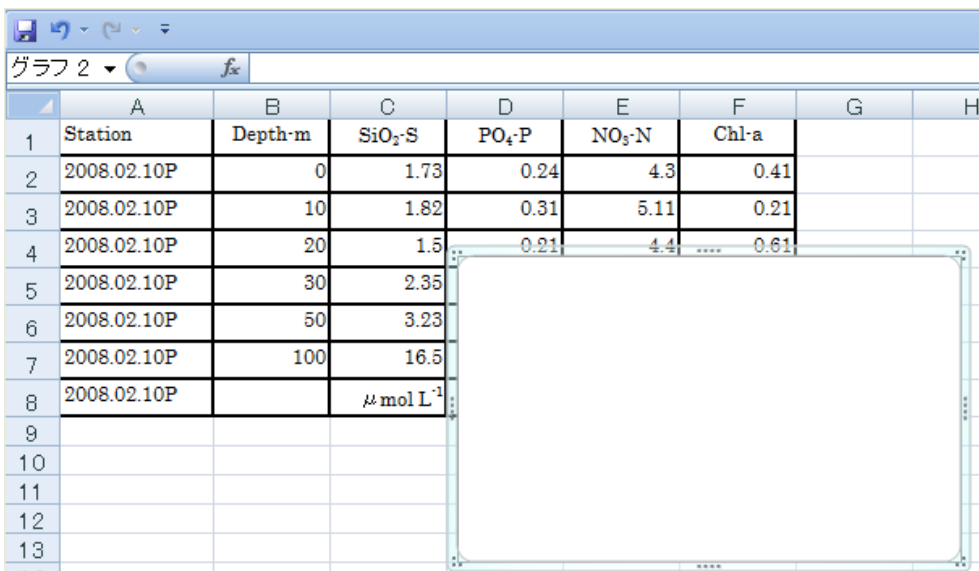
1. エクセルを開く。新規ファイル作成。
2. PDF ファイルから必要な数値データを選択し、コピーコマンドを実行。

表 4-5 2008年2月10日フィリピン・バナイ島西岸沖合の採水海水の分析結果

Station	Depth-m	SiO <sub>2</sub> -S	PO <sub>4</sub> -P	NO <sub>3</sub> -N	Chl-a
2008.02.10P	0	1.73	0.24	4.30	0.41
2008.02.10P	10				0.21
2008.02.10P	20				0.61
2008.02.10P	30				0.44
2008.02.10P	50				0.88
2008.02.10P	100				0.00
2008.02.10P					mgm <sup>-3</sup>

対数表示のため  
0.01 とすること。

3. エクセルへ貼り付け、グラフを挿入する。グラフは散布図(直線)とする。エクセルのセルを指定せずに[挿入]から。



4. [デザイン]から[データの選択]

データソースの選択

グラフデータの範囲(D):

データ範囲が複雑すぎるため、表示できません。データ範囲を選択し直すと、[系列] タブのすべての系列が置き換えられます。

行/列の切り替え(W)

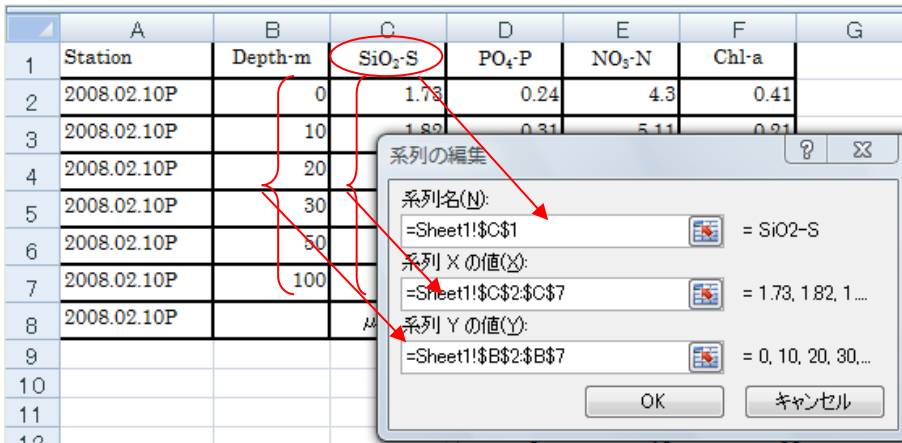
縦 (項目) 軸ラベル(S)

横 (項目) 軸ラベル(C)

追加(A) 編集(E) 削除(R) 編集(I)

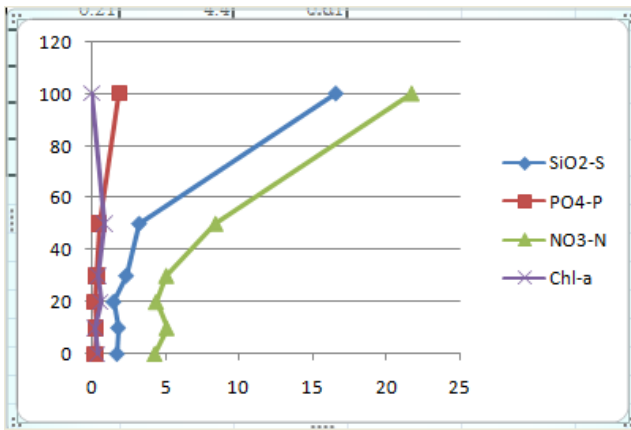
非表示および空白のセル(H) OK キャンセル

[追加]を4回繰り返す。

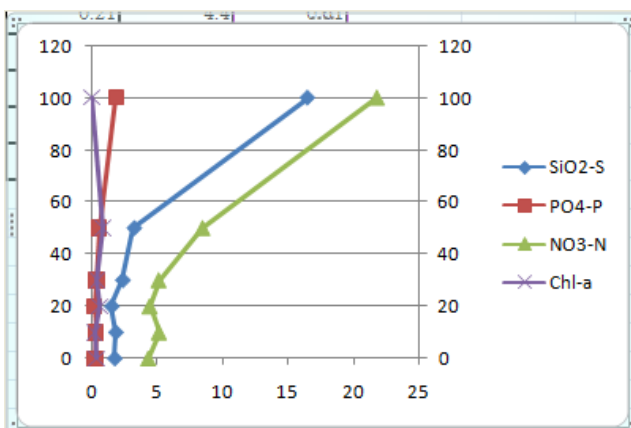


SiO<sub>2</sub>-S、PO<sub>4</sub>-P、NO<sub>3</sub>-N、Chl-aの4件のパラメータをX軸に順次入力する。深度(Depth)をY軸に入力する。

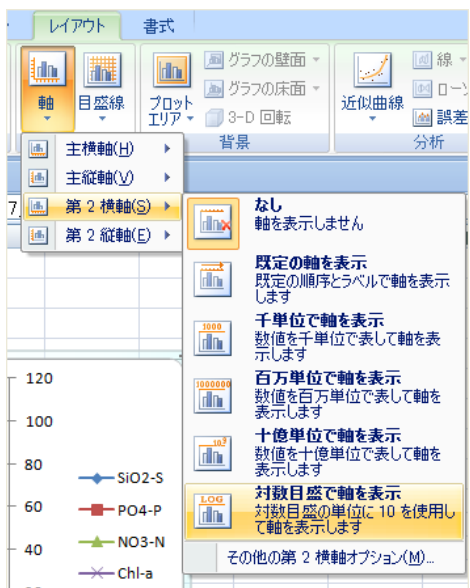
### 5. 軸の割り当てと変更



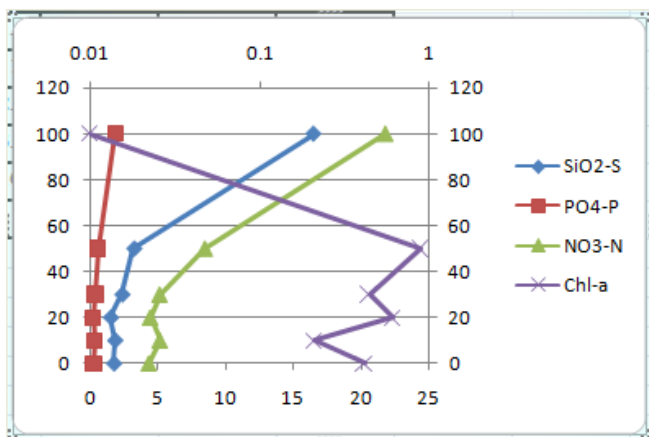
① クロロフィルのポイントを選択する。右クリックで、[データ系列の書式設定]、[第 2 軸]を選択する。



② クロロフィルの第2横軸を対数軸とする。

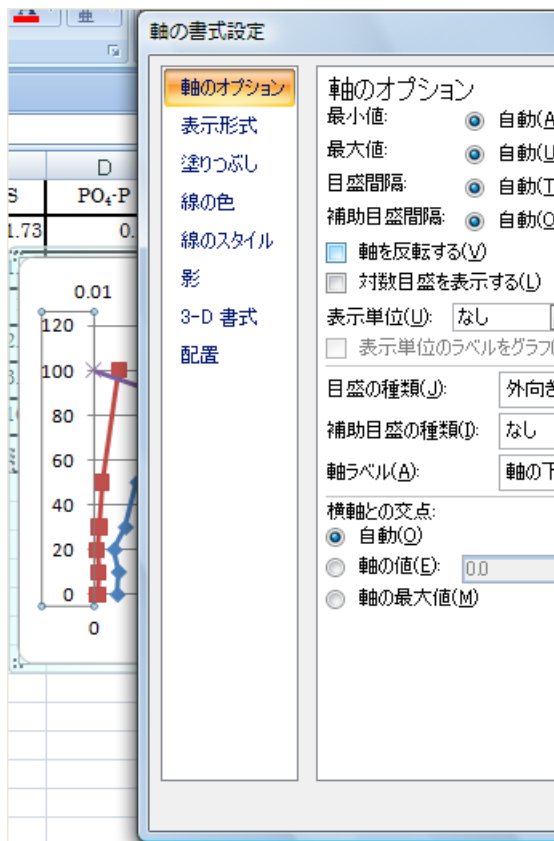


クロロフィルは低濃度から高濃度まで分布するので、デフォルトの実数表示をすると、濃度の低い部分がつぶれてしまいます。

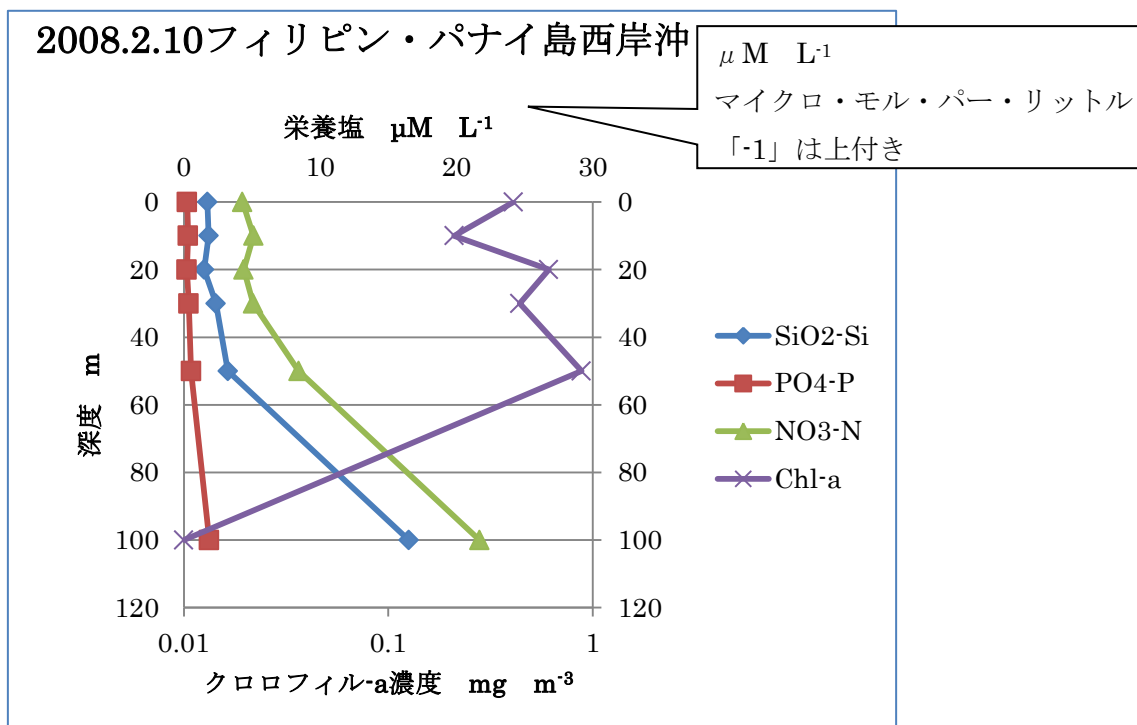


③ Y軸の反転

Y1軸をクリックし、選択する。右ボタンから[軸の書式設定]を選択する。[軸を反転する]を選択する。同様にY2軸を反転させる。



④ タイトル、軸の単位を表示する。パワーポイントに貼り付けて提出すること。



このグラフをコピーし、データの選択から対馬西海峡のデータを指定する。

